

授業科目名	英語合宿	担当教員	傅 建良
必修の区分	選択		
単位数	1 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1 年 第 2 クォーター		
講義内容	<p>学外施設において受講者が寝食を共にしながら、集中的にタスク活動を英語で行うことによって、総合的な英語力とコミュニケーション力を涵養することを目的とする。特に他者と協働し、対話や交渉を繰り返す機会を多く体験することによって、外国語である英語を自分（たち）らしいことばとして共有し、創造的に使用できる人になることをめざす。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、仕事や生活の中で英語を使うときに必要な態度とは何かを考えることができる ・シンプルで簡単な表現を使って、活動をやりとおすことができる ・ペアやグループのなかで、アイデアを出したり議論を進めるための方法を学び、英語での対話を継続させることができる 		
授業計画	<p>本プログラムは、学外の施設において2泊3日で行われる英語短期集中プログラムである。</p> <p>合宿に先立って、受講者用ガイダンスを行うほか、合宿後にはレポートなど課題提出が求められ、合宿への参加度と合わせて評価の対象となる。</p> <p>合宿では、グループが活動単位となり様々なタスク活動を行うほか、芸術や観光を専門とする教員も参加し、英語でのレクチャーや質疑応答も考えられる。</p> <p>(合宿1日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・グループ決定 ・英語ドラマ・ワークショップ（全体、グループ） <p>(合宿2日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストスピーカーによるレクチャー① 質疑応答 ・プロジェクト① ・グループごとの発表① <p>(合宿3日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストスピーカーによるレクチャー② 質疑応答 ・プロジェクト② ・グループでの発表② 		
事前・事後学習	合宿前に指示する		
テキスト	必要資料は合宿前、あるいは合宿内で配布する		
参考文献	合宿内で適宜紹介する		
成績評価の基準	合宿での活動参加度・課題達成度（70%）合宿後のレポート（30%）		

履修上の注意 履修要件	履修生には、合宿前のガイダンスから合宿後のレポート作成までをやり抜く強い意欲と、学外施設での研修に耐えうる協調性が求められる 単位取得のための最低出席率要件あり
実践的教育	該当しない。
備考欄	最低開講人数 5 名